

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスセンターうみねこ塾					公表日	令和7年3月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		個別活動のスペースの他、運動用のスペースを確保しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		児童指導員5名、保育士1名が配置されています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		強度行動障害実践研修修了者が3名配置されており、利用者の特性に応じた支援を行っています。	バリアフリー化の早急な対応は難しいですが、利用者が安心・安全に活動出来るように配慮して参ります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		その活動に合った居室を選択、提供しています。毎日各居室の清掃、消毒を行っています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		クールダウン、カームダウンが出来る居室や空間を設けています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		業務開始前にミーティングを行い情報を共有しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年1回保護者評価を実施し、回答や意見を参考にしながら業務の改善を図っています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議等で話し合いの場を設けています。年1回自己評価を実施し、回答や意見を参考にしながら業務の改善を図っています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		第三者委員への事業報告を行い、意見や助言を頂いています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部研修、内部研修を通じて職員の資質の向上を図っています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2			年度内に支援プログラムを作成し公表いたします。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		保護者との面談や学校との情報共有を通して課題、ニーズを把握し、計画作成を行っています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画作成前にケース会議を実施しており、支援に関わる職員全員が参加している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		ケース会議にて職員間で計画の内容を協議し、共有を図っています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の行動を観察、記録、ケース会議等で共有し、共通認識を持って支援しています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		5領域の観点を踏まえて「本人支援」の支援内容を設定し、個々の将来を見据えて「移行支援」を設定しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	ケース会議で個々の活動の見直しを行っています。	個別活動、全体活動両方の側面においてより円滑にチームで立案、共有できる体制作りを構築します。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		外部講師を招き、絵画教室、書道教室、スポーツ教室と各曜日異なる活動を行っています。制作活動や調理活動、絵本の読み聞かせ等で季節を意識した活動を行っています。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別の課題活動の他、各教室（絵画・書道・スポーツ）や外出活動、ピクニックといった集団で行う行事を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前にミーティングを実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	利用者の活動状況や支援内容、保護者とのやり取りを共有しています。	全職員で情報の共有が出来る体制作りをしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		ケース記録を作成し、日々の支援や利用者の体調や行動の変化を確認出来るようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回モニタリングを実施し計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		主担当の職員が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		協力医療機関はきむらクリニックとなっております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		事業所で発行している通信を学校に配布し、活動内容や行事予定を周知しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		特に新規の利用者を受け入れる際、積極的に関係機関と連携し相互理解に努めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		相談支援事業所を通して情報提供を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	外部モニタリングの際、情報提供を受けた上で助言を頂いております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。				受入側のご理解を頂いた上での実施方法を検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				協議会への参加の実績はございませんが、関係機関との連携を図りニーズや課題の対応に努めて参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳の他、お迎えの際保護者にお子さんの来所時の様子を口頭にてお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		ペアレントトレーニングに関する研修に職員が参加し、家族支援における知識や技術の向上を図りました。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談を通じて保護者の意向を確認し、計画内容に反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		必ず口頭で説明を行い、書面で同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		半年に1回、保護者と所内で面談をする機会を設けています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		11月に保護者等にお越し頂き、茶話会を実施しました。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		第三者委員の設置及び苦情受付体制を整備しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月HPを更新し活動の様子や行事予定を発信しています。定期的に通信も発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		契約時に個人情報の使用について同意書を記入して頂いています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		連絡帳の他、お迎えの際保護者にお子さんの来所時の様子を口頭にてお伝えしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			実習生を受け入れ、地域の福祉人材の育成に努めています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		火災、風水害、不審者、地震を想定し、年間5回の避難訓練、研修を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		策定しています。また、研修を実施し共通認識を図っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認する他、服薬内容に変更があった際は都度情報を更新出来るように保護者と連携しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時に記入して頂く健康シートにてアレルギーの有無の確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		策定しています。また、備品や遊具の安全確認を点検表を下に月1回行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		保護者茶話会の際に安全計画の周知を図りました。また、参加されなかった保護者の方々にはお迎えの際に個別で説明を行いました。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事例を作成し、職員間で対策方法を協議し共有を図っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会を設置し、所内研修で虐待防止や権利擁護について周知を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3	身体拘束適正化マニュアルを整備しています。	現在該当する児童がいない状況ですが、該当する利用者がいる場合には、説明と同意を得た上で個別支援計画に記載いたします。	